

令和4年度

特色ある事業

相生市

令和4年度 相生市の特色ある事業

分野	区分		事業名等	事業費(千円)	担当課	ページ
教育 (10事業)	定		市立幼稚園3歳児保育事業	14,340	管 理 課	1
	定		市立幼稚園預かり保育事業	8,068	管 理 課	2
	コ	新	市立幼稚園無線LAN整備事業	398	管 理 課	3
	ふ・定		市立幼稚園・小・中学校給食無料化事業	100,615	学 校 教 育 課	4
			相生型ハイブリッド学習事業	10,190	学 校 教 育 課	5
	コ	新	小・中学校ICT活用推進事業	5,190	学 校 教 育 課	6
	定		ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業	24,294	学 校 教 育 課 学 生 涯 学 習 課	7
	定		相生っ子学び塾事業	3,603	生 涯 学 習 課	8
	コ	新	図書館公衆無線LAN整備事業	1,461	生 涯 学 習 課	9
		新	図書館読書通帳事業	415	生 涯 学 習 課	10
子育て支援 (5事業)	定	新	高校生等医療費助成事業	854	市 民 課	11
	定		出産祝金支給事業	15,403	子 育 て 元 気 課	12
	定		子育て応援券交付事業	3,014	子 育 て 元 気 課	13
	定	新	妊活カップル応援金支給事業	4,500	子 育 て 元 気 課	14
	ふ		産婦人科・小児科オンライン医療相談事業	5,412	子 育 て 元 気 課	15
安全・安心 (3事業)	ふ	新	高齢者特殊詐欺防止対策事業	3,732	危 機 管 理 課	16
	ふ	新	相生市子ども食堂運営事業補助金交付事業	150	社 会 福 祉 課	17
		新	高齢者補聴器購入助成事業	500	長 寿 福 祉 室	18
相生の元気 (3事業)	ふ・定	新	あつまれ新婚さん新生活応援金支給事業	24,000	定 住 促 進 室	19
	定		住宅取得奨励金交付事業	15,000	定 住 促 進 室	20
	ふ	新	相生市中小企業奨学金返還支援事業	200	地 域 振 興 課	21
その他 (6事業)		新	市制80周年記念事業	7,200	企 画 広 報 課 生 涯 学 習 課	22・23
		新	行政デジタル化推進事業	16,231	企 画 広 報 課	24
	コ	新	マイナンバーカード普及促進事業	82,170	総 務 課	25
	ふ	新	ペーロン伝来100周年記念事業	10,000	地 域 振 興 課	26・27
		新	(仮称)地域エネルギーセンター推進事業	200	環 境 課	28
	コ	新	市民病院電子カルテ等導入事業	50,000	市 民 病 院	29
合計(27事業)				407,140		

区分の「ふ」は、ふるさと応援基金事業、「定」は、定住施策11の鍵事業

「コ」は、新型コロナウイルス感染症対策事業、「新」は、新規事業。

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園3歳児保育事業		担当課	管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	富田
事業の必要性	幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であるため、3歳児より基本的生活習慣を身につけることを目的に実施する。			
事業の内容	当市では、3歳児の幼稚園教育を県下で最も早く導入し、幼児の豊かな心の育成、基本的生活習慣の形成、道徳性・規範意識の醸成などを柱として教育活動を行っている。 市立幼稚園全園で実施し、保育時間は10月までが午前保育、11月からが午後2時までとなっている。 園児が20人を超える場合には、パート補助教諭1名の追加配置により実施している。			
事業費	14,340千円			
事業費の内訳	・人件費 10,087千円 ・工事請負費 300千円（幼稚園施設整備事業費） ・需用費等 3,953千円（幼稚園管理事業費）			
財源の内訳	（特定財源） —		（一般財源） 14,340千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月～令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園預かり保育事業	担当課	管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	富田
事業の必要性	平成19年6月に学校教育法が改正され、幼稚園の役割として子育て支援が位置づけられている。 幼稚園教育の機会拡充及び子育て支援の拡充により、保護者の子育てに関する不安の解消やストレスの緩和と幼児の健やかな成長を支援する。		
事業の内容	市立幼稚園の保育時間終了後、希望する園児に延長して保育を行う。 預かり保育時間は通常保育終了後から午後5時00分まで。夏休みなどの長期休業期間などは実施しない。 預かり保育料は無料（2号認定者は国の無償化制度、1号認定者は市の減免制度）とし、市立幼稚園全園で実施する。 なお、定員は各園35人。対象者は、実施する幼稚園に通う4歳児又は5歳児。		
事業費	8,068千円		
事業費の内訳	・人件費 7,534千円（パート指導員） ・需用費 534千円（消耗品費、燃料費）		
財源の内訳	（特定財源） 国庫補助金 3,188千円 県補助金 3,188千円	（一般財源） 1,692千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月		
備考			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園無線 LAN 整備事業		担当課	管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	富田
事業の必要性	幼稚園のインターネット環境を無線環境とし、教員のオンライン研修、保育における動画視聴や保育参観等の補完、他園とのオンライン交流など「新たな保育」に対応することを目的に実施する。			
事業の内容	幼稚園において、保育参観等を補完する保育の配信、増加している教員のオンライン研修等に柔軟に対応できるよう、幼稚園の I C T 環境整備として、モバイルルータを活用して無線環境を整備する。			
事業費	3 9 8 千円			
事業費の内訳	・ 委託料 2 0 0 千円 ・ 通信運搬費 1 9 8 千円			
財源の内訳	(特定財源)		(一般財源)	
	国庫補助金 2 0 0 千円		1 9 8 千円	
実施時期 (工期)	令和 4 年 4 月 ～ 令和 5 年 3 月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	市立幼稚園・小・中学校給食無料化事業	担当課	学校教育課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	竹口
事業の必要性	豊富な献立メニューと栄養バランスのとれた学校給食の給食費を無料化することにより、教育の充実に資するとともに、保護者の経済的負担を軽減し、子育てを支援することを目的とする。 平成23年4月より事業を開始し、令和3年度についても継続して実施する。		
事業の内容	対 象 ・市内に住所を有する市立幼稚園児・小学校児童・中学校生徒の保護者 ・特別支援学校に通学する市内に住所を有する児童・生徒の保護者 助成額 保護者が負担すべき学校給食費の額の全額		
事業費	100,615千円		
事業費の内訳	・補助金 100,615千円（学校給食費助成金）		
財源の内訳	（特定財源） 繰入金 21,900千円	（一般財源） 78,715千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月		
備考			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	相生型ハイブリッド学習事業		担当課	学校教育課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	竹口
事業の必要性	I C T機器を活用した個別学習や協働学習を推進するとともに、ふれあいや絆を重視した日々の授業や体験活動の意義を見直し尊重しながら、両方の持ち味を活かす「相生型ハイブリッド学習」を研究する。それらを通して、児童生徒一人ひとりに知徳体のバランスが取れた教育を行い、人間力の伸長を図る。			
事業の内容	・ふれあいや絆を重視した学習の継続・充実 対話的な活動を取り入れた学習や、創意ある学校園づくり推進事業を活用し、他者や地域から学ぶ体験活動を重視した実践を行う。 ・I C Tを活用した学習の充実 研修講座や校内研修を通じて、学校間の遠隔合同授業や家庭学習を含め、効果的な学習端末の活用を進める。 ・デジタル教育環境の支援 支援員によるマニュアルの作成や個別操作研修、I C Tを活用した授業提案等により、I C T化を円滑に進められるようにする。			
事業費	1 0, 1 9 0 千円			
事業費の内訳	・補助金 9 0 0 千円（創意ある学校園づくり推進事業補助金） ・報償費 5 0 千円 ・委託料 6, 4 6 8 千円（小学校支援員） ・委託料 2, 7 7 2 千円（中学校支援員）			
財源の内訳	（特定財源） —		（一般財源） 1 0, 1 9 0 千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	小・中学校 ICT 活用推進事業		担当課	学校教育課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・ ココナ		担当者	竹口
事業の必要性	「学校の I C Tを活用した授業環境高度化推進事業補助金」を活用し、特別教室や分割教室（少人数指導）などにおいても、制約されることなく普通教室と同様の I C Tを活用した、提示型授業を行うための機器整備を行う。 また、教職員の習熟度に応じた集合研修や、各校の規模や教育計画等をふまえた校内研修を実施することで I C T活用の推進を図る。			
事業の内容	・小中学校にオンライン学習など新たな学習ニーズに対応し、I C Tを活用した授業環境の高度化を図るために必要な備品を整備する。 ・I C T利活用、I C T推進リーダー育成・情報モラルの醸成のための研修を企画・実施する。			
事業費	5，190千円			
事業費の内訳	・備品購入費 4，290千円 65 インチ電子黒板機能付きモニター 小学校：@300,000 円×7 台×1.1=2,310,000 円 中学校：@300,000 円×6 台×1.1=1,980,000 円 ・委託料 900千円			
財源の内訳	(特定財源)		(一般財源)	
	3，917千円		1，273千円	
実施時期 (工期)	令和4年4月 ～ 令和4年9月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	ワンピース・イングリッシュ・A I O I 事業		担当課	学校教育課・生涯学習課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	竹口・末政
事業の必要性	子ども達がグローバル社会の中でたくましく生きる力を身につけていけるよう、幼児期から中学校卒業までの12年間を通じ、一つながりで体系的な取組みを行い、実践型の生きた英語を習得する環境づくりを目指す。			
事業の内容	(学校教育課) ・幼稚園及び小学校への専属F L T の配置 (生涯学習課) ・相生っ子学び塾（英語）			
事業費	24,294千円			
事業費の内訳	○専属F L T 配置 ・委託料23,246千円（外国語指導助手派遣委託料） ○相生っ子学び塾（英語） ・報償費756千円（講師等謝礼） ・需用費230千円（消耗品費外） ・役務費62千円（保険料）			
財源の内訳	(特定財源) 諸収入48千円		(一般財源) 24,246千円	
実施時期 (工期)	令和4年4月～令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	相生っ子学び塾事業	担当課	生涯学習課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	末政
事業の必要性	相生市の将来を担う子どもたちの生きる力を養うために、基礎学力の定着と自学の姿勢を身につけさせる必要があるため、実施する。		
事業の内容	対 象 者：市内小学校5、6年生（珠算のみ4、5、6年生） 講 座：国語・算数、英語、珠算 場 所：放課後各小学校（国語・算数、英語） 文化会館（英語、珠算） 時 間：概ね毎週1回、夏期1時間、冬期45分（国語・算数） 概ね月1回、夏期1時間、冬期45分（小学校）（英語） 概ね月2回、通年1時間（文化会館）（英語） 概ね月3回、1時間（珠算） 講座内容：プリントによる自学自習を通して苦手意識を克服する（国語・算数） 英語の復習や定着を目的とする（英語） 計算の基本である珠算（暗算含む）を習得する（珠算） 講 師：教員免許及び指導経験を有する人（国語・算数） 英語教育に関心や指導経験のある人（英語） 塾講師（元講師含む）や珠算指導に関心のある人、市内県立高校生（珠算）		
事業費	3,603千円		
事業費の内訳	・報償費 2,231千円（講師等謝礼） ・需用費 461千円（消耗品費外） ・役務費 122千円（保険料） ・賃金 789千円（学び塾コーディネーター）		
財源の内訳	（特定財源） 県補助金 1,566千円 諸収入 96千円	（一般財源） 1,941千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月		
備考	※英語講座に係る事業費は、「ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業」に記載		

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	図書館公衆無線 LAN 整備事業		担当課	生涯学習課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	桑名
事業の必要性	「新しい生活様式」に即した施設整備を行い、インターネットを活用した読書推進に係る事業の開催や、図書館資料と併用した情報収集を可能にすることで、市民の生涯学習活動の充実を図る。 また、図書館に公衆無線 LAN を整備することにより、市民の利便性の向上、図書館の活性化を図る。			
事業の内容	図書館内に公衆無線 LAN サービスを導入する。 利用者は自身のスマートフォンやパソコン、タブレット端末からインターネットに接続し、学習や調査・研究での利用が可能となる。 また、オンラインを活用した子ども劇場の配信や読書会の開催、他市図書館との交流など、読書推進に関する事業の充実に努める。			
事業費	1，461千円			
事業費の内訳	無線 LAN 環境整備事業委託料 無線 LAN システム一式 470千円 館内 LAN 配線作業費 500千円 ネットワーク設定作業費 330千円 諸経費 161千円			
財源の内訳	(特定財源) 国庫補助金 1，000千円		(一般財源) 461千円	
実施時期 (工期)	令和4年6月 ～ 令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	図書館読書通帳事業		担当課	生涯学習課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	桑名
事業の必要性	第4次相生市子ども読書推進計画の目標である、「子どもが自主的に本を手に取り、読書活動を定着させる環境づくり」の推進する。 また、子ども世代に限らず、読書の積み重ねが目に見える形になるため、通帳履歴が達成感を生み読書意欲を促進する。			
事業の内容	相生市立図書館において、金融機関の預金通帳のように自分が借りた本の履歴を記載する専用端末機を導入する。読んだ本のタイトルや貸出日を記録することで、通帳に記帳する仕組みを楽しみながら読書意欲を高めるとともに読書習慣を身に付けてもらう。			
事業費	415千円			
事業費の内訳	・使用料及び賃借料 415千円 (読書通帳端末機等リース料)			
財源の内訳	(特定財源) —		(一般財源) 415千円	
実施時期 (工期)	令和4年6月 ～ 令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	高校生等医療費助成事業		担当課	市民課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	小林
事業の必要性	高校生等の入院に係る医療費の自己負担分を助成することにより、子育て世代の経済的負担を緩和し、安心して子育てができる環境をつくる。			
事業の内容	高校生等の入院医療費の自己負担分を助成する。 ・対象者：15歳の誕生日以後、最初の4月1日から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの方 （高校に通っていない場合もある。） ・対象医療：入院 ・助成内容：医療保険における自己負担分の全額助成 ・所得制限：市民税所得割額が23.5万円未満 ・助成方法：償還払（現金給付）			
事業費	854千円			
事業費の内訳	役務費 57千円 扶助費 797千円			
財源の内訳	(特定財源) —		(一般財源) 854千円	
実施時期 (工期)	令和4年4月 ～ 令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	出産祝金支給事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	坂本
事業の必要性	出産をお祝いするとともに、子どもを産み育てやすい環境をつくる。		
事業の内容	相生市在住者が出産した場合、お祝い金として、第一子、第二子には1万円、第三子以降には出産時に1万円、次年度以降も継続して相生市に住所を有する者については10万円を3年間（合計31万円）支給する。		
事業費	15,403千円		
事業費の内訳	・需用費 3千円（消耗品費） ・扶助費 15,400千円（出産祝金） （10千円×240人＝2,400千円） （100千円×130人＝13,000千円）		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 15,403千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月		
備考			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	子育て応援券交付事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	坂本
事業の必要性	子育て家庭の不安解消や子育て負担の軽減を図るとともに、家庭や地域の子育て力の向上を図ることを目的とする。		
事業の内容	子どもを出生した保護者を対象に、3歳に達するまでの期間利用できる応援券（チケット）20,000円分を交付する。利用できるサービスとしては、子どもを預かるサービス、保護者を支援するサービス、子どもの健康保持や子育て家庭を支援するサービスとする。		
事業費	3,014千円		
事業費の内訳	・ 役務費 14千円（通信運搬費） ・ 交付金 3,000千円（子育て応援券事業交付金）		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 3,014千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月		
備考			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	妊活カップル応援金支給事業		担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	中山
事業の必要性	特定不妊治療が令和4年4月から保険適用となるが、保険適用後の自己負担は、高額療養費制度を適用しても比較的高額になることが見込まれる。また、治療にあたっては、心身的な負担も大きいことなどの理由により、治療開始を躊躇している夫婦に対し、安心して適正な治療が行えるよう給付金を支給し、当該夫婦を応援する。			
事業の内容	体外受精及び顕微授精を行う夫婦に対して、1クルールの治療当たり5万円の給付金を年6回を限度に支給する。			
事業費	4,500千円			
事業費の内訳	・ 扶助費 4,500千円（50千円×90回分）			
財源の内訳	（特定財源） —		（一般財源） 4,500千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	産婦人科・小児科オンライン医療相談事業	担当課	子育て元気課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	中山
事業の必要性	ウィズコロナ・アフターコロナにおいて、妊娠期から子育て世代までの医療に関する不安や悩みを解消するため、外出することなく自宅からオンラインで産婦人科医や小児科医等による相談ができる体制を整備する。		
事業の内容	1 夜間相談（平日18時から22時） LINEアプリ又はスマートフォンを使用してビデオ電話、音声通話又はメッセージチャットで産婦人科医、小児科医又は助産師に直接相談できる。（要予約） 2 いつでも相談 専用フォームからメッセージで相談内容を質問し、24時間以内に医師等による回答を受け取ることができる。 3 医療記事配信 受信希望者に医療記事を配信する。 4 くすり案内ボット 4～5つの質問に答えると、妊娠中・授乳中の困った症状への薬情報を提供する。		
事業費	5,412千円		
事業費の内訳	・電算システム使用料 5,412千円		
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 5,000千円	(一般財源) 412千円	
実施時期 (工期)	令和4年4月 ～ 令和5年3月		
備考			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	高齢者特殊詐欺防止対策事業		担当課	危機管理課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	根津
事業の必要性	高齢者を狙った還付金詐欺などの特殊詐欺被害が増加しており、相生市内においても発生している。特殊詐欺の手法は主に電話が利用されるものであり、特殊詐欺被害防止に、より効果的な自動録音電話機や外付け録音機を高齢者世帯に普及させることで特殊詐欺被害の防止を図る。			
事業の内容	65歳以上の希望世帯に対して、簡易型の自動録音機を無償で配布又は自動録音電話機若しくは外付け録音機の購入補助を行う。			
事業費	3,732千円			
事業費の内訳	【無償配布】 ・消耗品費 2,382千円（配布用簡易型自動録音機） ・役務費 910千円（希望世帯への郵送料） 【購入補助】 ・補助金 440千円 （自動録音電話機 20台×8千円＝160千円） （外付け録音機 70台×4千円＝280千円）			
財源の内訳	（特定財源） 県補助金 220千円 繰入金 3,000千円		（一般財源） 512千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月～令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	相生市子ども食堂運営事業補助金 交付事業		担当課	社会福祉課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	長棟
事業の必要性	地域における子どもの居場所づくりや子どもと地域住民の交流拠点の整備等地域福祉活動の促進を図るため、子ども食堂を運営する団体の活動を支援する。			
事業の内容	市内で子ども食堂を運営する団体（原則月1以上実施）に対し、子ども食堂に要する経費を補助する。（上限150千円）			
事業費	150千円			
事業費の内訳	・ 補助金 150千円			
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 150千円		(一般財源) —	
実施時期 (工期)	令和4年4月 ～ 令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	高齢者補聴器購入助成事業	担当課	長寿福祉室
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	中村
事業の必要性	聴力機能の低下により家族等とコミュニケーションがとりにくい高齢者に対し、補聴器の購入に要する費用の一部を助成することにより、円滑なコミュニケーションの確保及び引きこもりの防止を図り、社会参加を促すとともに認知症予防のためにも必要な事業である。		
事業の内容	2万円を上限に補聴器の購入費用を助成する。 対象者は非課税世帯の65歳以上の者で、医師が必要性を認めた者とする。（中程度の難聴者） 助成額は補聴器本体1台分の購入費の範囲内で2万円を限度（一人1回限り）とする。		
事業費	500千円		
事業費の内訳	・ 扶助費 500千円		
財源の内訳	（特定財源） 繰入金 500千円	（一般財源） —	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月		
備考			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	あつまれ新婚さん新生活応援金 支給事業		担当課	定住促進室
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	関本
事業の必要性	従前から、新婚世帯家賃補助を実施し、子育て世代の転入促進・転出抑制を図ってきており、一定の成果をあげてきた。この度、国の結婚新生活支援事業を一部活用しながら、結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる支援を拡大することで、子育て世代の転入促進・転出抑制を図るとともに、出生率の向上に寄与することを目的とする。			
事業の内容	新婚世帯に対して、婚姻に伴う住宅取得費用、住宅賃借費用、引越費用、リフォーム費用を補助する。上限額は、婚姻日において、夫婦ともに29歳以下の世帯は60万円、夫婦の一方が39歳以下の世帯は30万円。 加えて、継続して相生市内に在住し3年経過した場合に、15万円を追加交付する。 なお、所得要件は設けない。 (補助金の最大額は75万円(60万円+15万円)となる。)			
事業費	24,000千円			
事業費の内訳	・補助金 24,000千円(あつまれ新婚さん新生活応援金) 内訳 夫婦ともに29歳以下 25世帯 夫婦の一方が39歳以下 30世帯			
財源の内訳	(特定財源)		(一般財源)	
	県補助金 4,350千円 繰入金 14,550千円		5,100千円	
実施時期 (工期)	令和4年4月～令和5年3月			
備考	あつまれ新婚さん新生活応援金(補助額最大75万円)と住宅取得奨励金(補助額25万円)との併給を可能とすることで、子育て世代を対象に、 <u>住宅・定住支援として最大100万円を補助。</u>			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	住宅取得奨励金交付事業	担当課	定住促進室
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	関本
事業の必要性	若者の定住により地域の活性化を図るため、住宅取得奨励金を交付し、人口の増加と子どもの笑顔があふれるまちづくりを進め、活気ある相生市を築くことを目的とする。		
事業の内容	若い世代の定住促進を図るため、事業期間中に市内に住宅を新築または購入した申請者が40歳未満の世帯、夫婦もしくは18歳未満の子どもを養育している世帯に対し、奨励金25万円を交付する。		
事業費	15,000千円		
事業費の内訳	・補助金 15,000千円（住宅取得奨励金） 内訳 新規交付予定分 250千円×5件×12月		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 15,000千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月		
備考			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	相生市中小企業奨学金返還支援事業		担当課	地域振興課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	中谷
事業の必要性	従業員の奨学金返還負担軽減制度を設ける市内中小企業に対し、当該企業の負担額の一部を支援することで、市内中小企業の人材確保を図るとともに、若年者の地元就職及び定着を促進する。			
事業の内容	市内に主たる事務所を有する中小企業で、従業員に対して奨学金返還負担軽減制度を設け、兵庫県中小企業就業者確保支援事業を利用している事業者に対し、対象従業員1人あたり兵庫県中小企業就業者確保支援事業の補助額の2分の1（上限3万円）を助成する。			
事業費	200千円			
事業費の内訳	・補助金 200千円（相生市中小企業奨学金返済支援事業補助金）			
財源の内訳	（特定財源） 繰入金 100千円		（一般財源） 100千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	市制80周年記念事業	担当課	企画広報課・生涯学習課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	西山・寺田
事業の必要性	昭和17年10月1日の市制施行から80周年を迎えるにあたり、記念式典を開催する。 記念事業として、自衛隊音楽隊による演奏会、NHK公開放送を実施する。		
事業の内容	詳細は次頁		
事業費	7,200千円		
事業費の内訳	・報償費 2,190千円（表彰者記念品外） ・旅費 200千円（自衛隊音楽隊派遣） ・需用費 3,171千円（消耗品費、印刷製本費、食糧費） ・役務費 186千円（通信運搬費外） ・委託料 300千円（看板、横断幕作成委託料） ・使用料及び賃借料 953千円（バス借上料外） ・補助金 200千円（文化会館管理運営委員会補助金）		
財源の内訳	（特定財源） —	（一般財源） 7,200千円	
実施時期 （工期）	記念式典：令和4年10月1日 自衛隊音楽隊：調整中、NHK公開放送：令和4年12月10日		
備考			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	市制80周年記念事業	担当課	企画広報課・生涯学習課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	西山・寺田
【市制80周年記念式典】（企画広報課） 日時：令和4年10月1日（土） 午前9時30分開場、午前10時開式 会場：扶桑電通なぎさホール 大ホール 内容：・スライドショー ・市内中学校吹奏楽部・生徒による演奏及び合唱 ・記念表彰（受賞者は今後調整） 名誉市民、自治功労者、椿賞、コスモス賞、感謝状など、 詳細については今後調整 【自衛隊音楽隊による演奏会】（企画広報課） 日時：令和4年9月（調整中） 会場：扶桑電通なぎさホール 大ホール 【NHK公開放送】（生涯学習課） 日時：令和4年12月10日（土） 会場：扶桑電通なぎさホール 大ホール 内容：NHKラジオ「上方演芸会」公開収録			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	行政デジタル化推進事業	担当課	企画広報課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	塚本
事業の必要性	社会全体のデジタル化の推進には、住民に身近な行政サービスのオンライン化が不可欠であり、窓口業務だけでなく、内部情報系業務も含めたデジタル化及び業務改革を徹底することで、住民の利便性向上・行政効率化を図るとともに、地域課題の解決に取り組む。		
事業の内容	【行政手続きオンライン化】 「自治体DX推進計画」における「特に国民の利便性向上に資する手続」とされる手続きについて、市民がマイナンバーカードを用いて、オンラインで手続きを可能にする環境構築を行う。 【ICT推進：AI会議録作成支援システム】 庁内会議等における議事録作成業務について、ICT技術を導入することで業務の効率化及び改善を図る。		
事業費	16,231千円		
事業費の内訳	【行政手続きオンライン化】 ・委託料13,538千円 ・使用料及び賃借料1,056千円 【ICT推進：AI会議録作成支援システム】 ・需用費383千円 ・使用料及び賃借料990千円 ・備品購入費264千円		
財源の内訳	(特定財源) 国庫補助金7,296千円	(一般財源) 8,935千円	
実施時期 (工期)	令和4年4月～令和5年3月		
備考			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	マイナンバーカード普及促進事業		担当課	総務課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	古川
事業の必要性	マイナンバーカード取得者に商品券を交付することにより、マイナンバーカードの普及率の向上を図るとともに新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者に対する消費喚起を図る。			
事業の内容	マイナンバーカード取得者に対して、飲食、物品販売、サービス提供等を行う市内事業者において使用できる1組3千円分（中小規模店専用券500円券×2枚、全店共通券500円券×4枚、合計500円券×6枚）の商品券を配布する。			
事業費	82,170千円			
事業費の内訳	・ 需用費 500千円（消耗品費） ・ 役務費 9,100千円（通信運搬費） ・ 負担金及び補助金 72,570千円（商品券事業補助金）			
財源の内訳	（特定財源） 国庫補助金 57,000千円		（一般財源） 25,170千円	
実施時期 （工期）	令和4年4月 ～ 令和5年3月			
備考				

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	ペーロン伝来１００周年記念事業		担当課	地域振興課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	中谷
事業の必要性	大正１１年（１９２２年）に長崎よりペーロンが伝えられてから令和４年（２０２２年）で伝来１００周年を迎えるにあたり、相生ペーロン祭において記念事業を実施する。			
事業の内容	以下の記念事業を実施する。 ・ 記念レースの実施（交流都市特別招待など） ・ ペーロン新艇（海龍・輝龍・蒼龍・瑞龍）の披露 ・ １００周年記念誌の作成 ・ １００周年記念展示の開催 ・ 長崎物産展の開催			
事業費	１０，０００千円			
事業費の内訳	・ 補助金　１０，０００千円（相生ペーロン祭運営補助金）			
財源の内訳	（特定財源） 繰入金　１０，０００千円		（一般財源） —	
実施時期 （工期）	令和４年４月　～　令和５年３月			
備考	詳細は次頁			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	ペーロン伝来100周年記念事業	担当課	地域振興課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	中谷
1 伝来100周年 大正11年（1922年）に長崎より相生に伝来し、令和4年（2022年）で100周年を迎える。 2 開催日 令和4年5月28日（土）、29日（日） 3 事業概要 （1）前夜祭花火大会 ア 日程 5月28日（土） イ 会場 ポート公園前相生湾 ※観覧席はポート公園 （2）陸上パレード ア 日程 5月29日（日） イ 会場 みなと銀行前からパレードを開始し、ポート公園内を最終演舞場とすることで海上の部ペーロン競漕との一体感を創出 （3）ペーロン競漕 ア 日程 5月29日（日） イ 会場 ポート公園前相生湾 ※観覧席はポート公園 4 100周年記念事業 （1）ペーロン新艇の披露 新たに建造した海龍、輝龍、蒼龍、瑞龍の4艇を披露 （2）記念レース ・交流都市（長崎市、須崎市など）から特別招待 ・オープンチームの決勝レース ・市内学生による次世代交流レース （3）ペーロン功労者等の表彰 （4）長崎物産展の開催（長崎市とのペーロン交流都市20周年） （5）100周年記念展示 相生ペーロン海館にて開催 （6）100周年記念誌の作成 （7）海上アトラクションの実施 インターバル時間における海上での催しの開催 5 その他 新型コロナウイルス感染対策を行ったうえでの開催とし、今後の感染拡大状況によって実施内容の変更について検討していく。			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	(仮称)地域エネルギーセンター 推進事業	担当課	環境課
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ	担当者	大角
事業の必要性	国が目指す2050年の脱炭素社会の実現に向けて、本市も地域特性に応じた効果的な取り組みを進めていく必要がある。		
事業の内容	(仮称)地域エネルギーセンター（新美化センター）において廃棄物焼却による廃熱を利用した発電を行い、再生可能エネルギーを創出する。また、同施設を脱炭素社会づくりの取り組みの中核施設として位置付け、同エネルギーを最大限に活用した脱炭素の取り組みやその手法等について国や事業者の協力を得ながら調査・研究を行う。		
事業費	200千円		
事業費の内訳	・旅費 200千円 (国県との調整協議、調査研究のための旅費)		
財源の内訳	(特定財源) —	(一般財源) 200千円	
実施時期 (工期)	令和4年4月 ～ 令和5年3月		
備考			

令和4年度当初予算特色ある事業

事業名	市民病院電子カルテ等導入事業 (市民病院事業会計)		担当課	市民病院
区分	新規・継続・定住・ふるさと・コロナ		担当者	後藤
事業の必要性	市民病院へ電子カルテ等のシステムの導入により、新型コロナウイルスの感染リスクの軽減を図るとともに、電子データの一元管理による業務の効率化を進め、患者サービスの向上を図る。			
事業の内容	電子カルテシステム、医事システム導入及び LAN 配線工事			
事業費	50,000千円			
事業費の内訳	電子カルテシステム導入 36,300千円 医事システム導入 8,300千円 LAN 配線工事等 5,400千円			
財源の内訳	(特定財源) 繰入金 50,000千円		(一般財源) 0千円	
実施時期 (工期)	令和4年4月 ～ 令和4年12月			
備考				